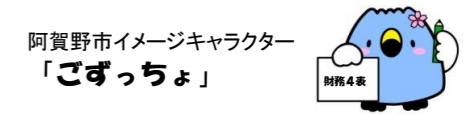


令和3年度 阿賀野市の財務書類（概要版）



令和3年度決算について、統一的な基準に基づく財務書類を作成しました。

※「一般会計等財務書類」は一般会計のみ、「全体財務書類」は一般会計等に特別会計・企業会計など地方公営事業会計を加えたもの、「連結財務書類」は全会計の一部事務組合など市の関連団体を加えたものになります。

貸借対照表 (BS)

令和3年度末(令和4年3月31日)時点における資産と、その資産形成に必要な財源である負債及び純資産を表したものです。資産に対する将来世代の負担(負債)と過去及び現役世代の負担(純資産)の割合を把握することができます。

一般会計等では、資産は約635億円となっており、そのうち有形固定資産が83.0%を占め、約527億円となっています。負債は約257億円となっており、資産のうち40.4%が将来世代の負担であることを表しています。純資産は約379億円となっており、資産のうち59.6%が過去及び現役世代の負担であることを表しています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結		一般会計等	全体	連結
1. 固定資産	59,291	115,351	117,169	1. 固定負債	22,922	71,110	71,463
(1) 有形固定資産	52,675	106,702	107,877	(1) 地方債	18,318	43,889	44,173
① 事業用資産	27,218	33,082	34,186	(2) 退職手当引当金	4,604	5,279	5,348
② インフラ資産	25,040	70,281	70,284	(3) その他	0	21,942	21,942
③ 物品	417	3,339	3,406	2. 流動負債	2,753	4,881	4,919
(2) 無形固定資産	96	1,361	1,361	(1) 1年内償還予定	2,411	4,149	4,181
(3) 投資その他資産	6,520	7,288	7,931	地方債			
2. 流動資産	4,241	6,315	6,679	(2) 賞与等引当金	230	261	266
(1) 現金預金	1,478	3,313	3,481	(3) その他	112	471	472
(2) 基金	2,729	2,729	2,925	負債合計	25,676	75,991	76,383
(3) その他	34	273	273	純資産合計	37,856	45,674	47,465
資産合計	63,531	121,665	123,848	負債・純資産合計	63,531	121,665	123,848

行政コスト計算書 (PL)

令和3年度中の資産形成に結びつかない行政活動に要した費用と、使用料等の収入の関係を表したものです。官庁会計では捕捉できなかった現金支出を伴わない費用(減価償却費など)も計上しています。

一般会計等では、費用から収入を除いた純行政コストは約201億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
経常費用	20,582	31,499	35,059
1. 業務費用	10,424	14,303	14,747
(1) 人件費	3,520	3,954	3,759
(2) 物件費等	6,690	9,701	10,213
(3) その他業務費用	213	648	776
2. 移転費用	10,158	17,196	20,312
経常収益	451	2,182	2,226
純経常行政コスト	20,132	29,317	32,833
臨時損失	4	5	33
臨時利益	2	13	13
純行政コスト	20,133	29,310	32,853

純資産変動計算書 (NW)

令和3年度中の純資産の変動要因を表したものです。純資産の増加は現役世代の負担によって将来世代の負担が減少したことを表し、純資産の減少は反対に将来世代の負担が増加したことを表します。

一般会計等では、純資産は約13億円増加し、本年度末残高は約378億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
前年度末純資産残高	36,516	44,077	45,974
1. 純行政コスト(△)	△ 20,133	△ 29,310	△ 32,853
2. 財源	21,447	30,756	34,166
(1) 税収等	14,420	18,481	19,957
(2) 国県等補助金	7,028	12,275	14,209
本年度差額	1,314	1,446	1,313
その他	26	151	178
(無償所管換等)			
本年度純資産変動額	1,339	1,597	1,491
本年度末純資産残高	37,856	45,674	47,465

資金収支計算書 (CF)

令和3年度中の資金の動きを業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支の3つの区分で表したものです。なお、歳計外現金は本表の欄外に表示します。

一般会計等では、資金は約2億円増加し、歳計外現金を合わせた本年度末現金預金残高は約15億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
業務活動収支	2,713	4,469	4,463
投資活動収支	△ 1,518	△ 2,471	△ 2,531
財務活動収支	△ 1,008	△ 1,735	△ 1,751
本年度資金収支額	188	262	181
前年度末資金残高	1,180	2,940	3,187
本年度末資金残高	1,367	3,202	3,370

本年度末歳計外現金残高	111	111	111
本年度末現金預金残高	1,478	3,313	3,481

●市民1人あたりで計算してみると…

※住民基本台帳人口:40,860人(令和4年1月1日時点)

貸借対照表 (BS)

(単位:千円)

	一般	全体	連結		一般	全体	連結
資産	1,555	2,978	3,031	負債	628	1,860	1,869
				純資産	926	1,118	1,162
資産合計	1,555	2,978	3,031	負債・純資産合計	1,555	2,978	3,031

行政コスト計算書 (PL)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
経常費用	504	771	858
経常収益	11	53	54
純経常行政コスト	493	718	804
純行政コスト	493	717	804

純資産変動計算書 (NW)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
前年度末純資産残高	894	1,079	1,125
本年度純資産変動額	33	39	36
本年度末純資産残高	926	1,118	1,162

一般会計等では…

- ・貸借対照表
1人あたりの資産は約155万円、負債は約63万円となっています。
- ・行政コスト計算書
1人あたりの純行政コストは約49万円となっています。
- ・純資産変動計算書
1人あたりの純資産は約93万円となっています。
- ・資金収支計算書
1人あたりの現金預金は約4万円となっています。

資金収支計算書 (CF)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
本年度資金収支額	5	6	4
前年度末資金残高	29	72	78
本年度末資金残高	33	78	82
本年度末現金預金残高	36	81	85

※表中、表示単位未満は四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。